

日本フラワー・オブ・ザ・イヤ－2016決定。



及び
特別賞受賞品種のご紹介
切花部門 / 鉢物部門 / ガーデニング部門

■ 「いい花の新基準」。ジャパンフラワーセレクション

ジャパンフラワーセレクション (JFS)とは、「いい花の新基準。」を合言葉に、業界初の統一的な品種コンテストとして2006年春からスタート。

国内外の新品種の中から、消費者に本当に推奨できる優れた品種を選定しています。

各審査会で受賞品種のなかから、フラワー・オブ・ザ・イヤ－（最優秀賞）や、ベスト・フラワー（優秀賞）、各種特別賞を選定し年末に表彰を行っています。

フラワー・オブ・ザ・イヤ－ <i>Flower of the Year</i>	モーストジョイ 特別賞	ニューノブリュー 特別賞	グッドパフォーマンス 特別賞	カラークリエイト 特別賞	ニュースタイル 特別賞
ベスト・フラワー <i>Best Flower</i>	フレグランス 特別賞	ジャパンデザイン 特別賞	ライフデザイン 特別賞	ブリーディング 特別賞	モニター 特別賞



いい花の新基準。

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内

TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743
メール : jfpc@jfpc.or.jp

ジャパンフラワーセレクション2016-2017 審査会の開催状況

■切花部門

部門名	審査日	審査対象品種
冬春審査会	審査日:2016年3月8日(火) 会場:福岡県花卉農業協同組合 地方卸売市場福岡花市場	7品種
春審査会	審査日:2016年4月21日(木) 会場:パシフィコ横浜 ホールB	27品種
秋審査会	審査日:2016年10月25日(火) 会場:株式会社 大田花き	10品種
切花部門 合計		44品種

審査会の様子



切花部門春審査会の様子



鉢物部門春審査会の様子

■鉢物部門

部門名	審査日	審査対象品種
冬春審査会	審査日:2016年3月8日(火) 会場:福岡県花卉農業協同組合 地方卸売市場福岡花市場	3品種
春審査会	審査日:2016年4月21日(木) 会場:パシフィコ横浜 ホールB	33品種
秋審査会	審査日:2016年11月18日(木) 会場:株式会社フラワーオークションジャパン	9品種
鉢物部門 合計		45品種



ガーデニング部門露地花壇の様子

■ガーデニング部門

部門名	審査日	審査対象品種
春審査会	審査日:2016年5月19日(木) 会場:千葉大学環境健康フィールド科学センター	10品種
夏秋審査会	審査日:(第1回)2016年6月30日(木) (第2回)2016年8月11日(木) (第3回)2016年9月30日(金) 会場:千葉大学環境健康フィールド科学センター	18品種
秋審査会	審査日:2016年11月11日(金) 会場:千葉大学環境健康フィールド科学センター	1品種
ガーデニング部門 合計		29品種



ガーデニング部門夏秋審査会の様子

審査会のほかに関東東海花の展覧会での受賞品種PR展示やお台場おもてなし花壇などでも多くの方にJFSの受賞品種をご紹介します。

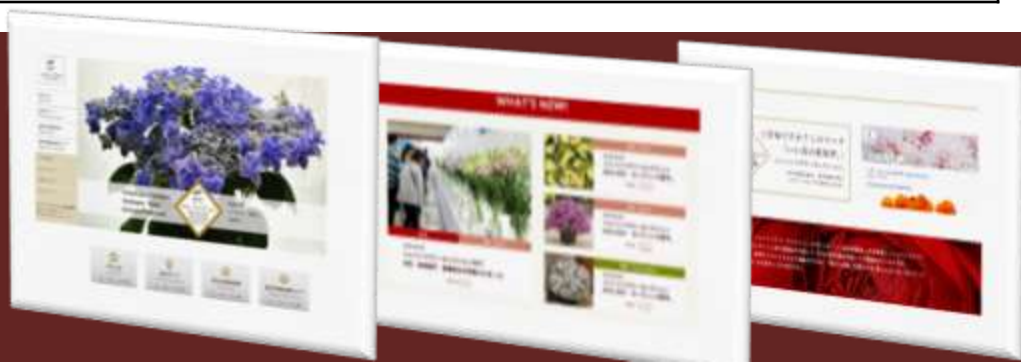


御協力いただいた審査員の先生方

部門	審査員名
切花部門 (福岡会場)	松野 孝敏 福岡県農林業総合試験場資源活用研究センター 苗木・花き部長(部門長) 長村 智司 (一社)フラワーソサイエティ会長 野口 静香 花ののぐち フLOWERコーディネーター 原 坦利 九州・山口花き園芸連絡協議会会長 松井 洋 福岡県農林水産部経営技術支援課花き専門技術指導員
切花部門	穴戸 純 (株)大田花き 営業本部(部門長) 大根 秀夫 (株)千政 代表取締役 小泉 吉寿 (株)白楽花園 チーフデザイナー 藤本 広明 (株)日比谷花壇 購買企画推進部長 北條 慶 (株)フラワーオークションジャパン 商品部課長 細谷 宗令 元千葉県農林総合研究センター 増田 篤 (株)日比谷花壇 東日本バンケット事業部
鉢物部門 (福岡会場)	長岡 求 (株)フラワーオークションジャパン取締役花の広報室長(部門長) 池田 淳子 福岡県農林水産部経営技術支援課花き専門技術指導員 小林 泰生 ホルテック(株)取締役 元福岡県総合農業試験場園芸研究所長 久芳 国昭 久山植木(株)代表取締役社長 藤川 勝利 福岡県花卉農業協同組合市場統括部長
鉢物部門	長岡 求 (株)フラワーオークションジャパン 取締役 (部門長) 岡部 幸一 (株)大田花き 営業本部 第二グループ グループリーダー 尾崎 明弘 (株)オザキフLOWERパーク 代表取締役 香取 邦枝 第一園芸(株) 新商品開発課課長 小池 安比古 東京農業大学 花き学研究室 教授 向原 潤 (株)ディノス・セシール フLOWERネット本部 フLOWERネット事業部 EC/事業推進ユニット チーフ
ガーデニング 部門	福永 哲也 豊明花き(株) 代表取締役社長 (部門長) 尾崎 明弘 (株)オザキフLOWERパーク 代表取締役 杉井 志織 はなぐみ 代表 田中 義一 (株)フラワーオークションジャパン 営業本部開発室課長 山口 まり 日本ハンギングバスケット協会 理事 渡辺 均 千葉大学環境健康フィールド科学センター 准教授
中央審査委員会	中央審査委員長 安藤 敏夫 切花部門長 穴戸 純 鉢物部門長 長岡 求 ガーデニング部門長 福永 哲也



ジャパンフラワーセレクションのホームページをた
だいまりリニューアル中！
しばらくお待ちください。



切花部門 秋審査会
フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）
秋田県 ダリア 「NAMAHAJEチーク」



品目名：ダリア
品種名：NAMAHAJEチーク
受賞：秋田県
育成者：鷲沢 幸治
育成者権者：秋田県
HP：<http://www.pref.akita.lg.jp/>

審査講評：フォーマルデコラティブ咲きの端正な花型。これまでにない配色の淡いピンクのグラデーションが魅力的な品種。ブライダル、ギフト、フューネラルと様々なシーンでの活用が期待できる。色白の肌にほほ紅をうっすら刷いたようなエレガントな雰囲気は秀逸。



■受賞者コメント

【開発の経緯】

市場から淡桃色の品種が求められていたことから、開発を目指した。

【開発のコンセプト】

色白の肌にチークを入れたような秋田美人の花色となるように開発した。

【発見・開発の面白さ、難しさ】

よい品種同士を人工交配しても、優れた子孫を残すとは限らず、狙いどおりに行かないところが難しい。

逆に、虫媒等の自然に任せた交配で優れた特性の子孫を残す場合があり、偶然性の面白さがある。

【今後の展開】

NAMAHAJEダリアのさらなる拡充を目指す。

切花部門 冬春 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞） [ジャパンデザイン特別賞 同時受賞]

品目名：バラ
 品種名：セブンスターローズ
 受賞者：有限会社 たなまち園芸場
 （福岡県）
 育成者：棚町 満

審査講評：花数が多く、ボリューム感に優れ、切り花長も十分とれる。スプレーだが、1輪の大きさに大差が無く、切り分けても使いやすい。純白の花色と、ころんと丸みを帯びた花型が、ブライダルでの使用はもちろん、さまざまな用途が見込める。日本人の感性にあった使い方に対応できる柔らかい雰囲気も持ち合わせたすばらしい品種としてベスト・フラワーと優秀賞ジャパンデザイン特別賞を受賞した。



■受賞者コメント

【開発の経緯】馴染みの花屋さんから、「クラシックローズは花型が良いが、一気に散るバラが多い」と聞き、品種開発で解決できたら、と育種目標を定めました。散らない花を目指し、15年間、交配と選抜を繰り返して生まれた品種です。九州を走る観光列車「ななつ星」のように、夢を与える存在になってほしいと思い、セブンスターの名を与えました。

【開発のコンセプト】「散らないクラシックローズ」です。ヨーロッパの庭にあるようなクラシカルなカップ咲きで、開花が進んでも散らないものを目指しました。また、中輪であることで主役・脇役どちらにもなれる存在であり、スプレー咲きであることでアレンジにも花束にも使うことができます。茎はしなやかで、動きのあるブーケにも適します。ブライダルや小売、花を扱う全ての人にとって使いやすいバラとなってもらいたいと考えています。

【発見・開発の面白さ、難しさ】自分の求める形質が発現してくれたところと、それを喜んで使ってくれる花屋さんがいってくれることに育種の面白さを感じています。育種を始めた頃は、発芽すらできず、技術的に何度も壁に当たりましたが、周囲の色んな方々のおかげで育種技術と選抜の目を養うことができました。

【今後の展開】セブンスターローズを多くの花屋さんに使ってもらえるよう、安定生産に向けて取り組んでいます。また、次は、散らないクラシックローズのシリーズ化という目標に向け、毎日育種に取り組んでいます。

切花部門 春 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ特別賞 同時受賞]



品目名：バラ
 品種名：さざ波
 受賞者：有限会社 岡松バラ園（徳島県）
 育成者：岡松 計仁
 審査講評：波打った花卉、丸くかわいらしい花型が印象的。花色は少し落ち着いた独特なピンク色。咲き進みがゆっくりで丸いかわいらしい花型を長く保つ。棘も少なく作業性も良いことが評価され、ベスト・フラワー（優秀賞）とモーストジョイ特別賞を同時受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】「薔薇が他の切り花にシェアを取られている。薔薇に似たラナンキュラス、トルコキキョウなどが近年、市場に出てきている。そのため、薔薇らしい薔薇ではなく、あえて一般の消費者が見て薔薇で無いような薔薇を育種している。

【開発のコンセプト】海陽町はサーフィンが盛んで波がとても美しいので波（フリル）をイメージして開発。

【発見・開発の面白さ、難しさ】

鑑賞期間を長くさせ、輸送にも強い薔薇を育種する難しさ。受粉する時のイメージする面白さ。種を播き発芽し、一番花が咲いた時の面白い花の発見。

【今後の展開】

今後も面白い花型に取り組んで世界で通用する薔薇を開発して行く。

モーストジョイ特別賞

品目名：バラ
 品種名：ブライダルセブンスターローズ
 受賞者：有限会社 たなまち園芸場
 (福岡県)
 育成者：棚町 満

審査講評：淡いピンク、丸い花型、優しい香りの調和のとれた品種。大輪のスプレー咲き仕立ての品種では少ない優しいピンク。「セブンスターローズ」と同様に花数が多く、ボリューム感にも優れている。トゲも少なく、作業性もよい。見る人に優美さを感じさせる品種としてモーストジョイ特別賞を受賞した。



■受賞者コメント

【開発の経緯】交配・選抜を繰り返して生まれた親の白バラ「セブンスターローズ」の栽培を始めたころから、自分が目指す淡いピンク色の枝変わりの発現を信じて栽培を続けた3年後、生まれたのが「ブライダルセブンスターローズ」です。淡いピンクとカップ咲きの花型から美しくかわいらしい花嫁を連想し、親の「セブンスターローズ」に「ブライダル」を冠しました。

【開発のコンセプト】「桜ピンクの結婚式向けバラ」です。以前から、日本の美を凝縮したようなソメイヨシノ風の、桜色のピンクのバラを作りたいと考えていました。親の「セブンスターローズ」同様、散らないカップ咲き、スプレータイプのバラであるため、ブライダルでも小売でも使いやすいバラです。

【発見・開発の面白さ、難しさ】枝変わりは交配育種だと長い時間と労力が必要な変異を一気にもたらしてくれます。ほぼ周年採花するバラでは枝変わりが出やすい上、交配では淡いピンクよりもマットなピンクが発現しやすいため、いつか必ず桜ピンクの枝変わりが出ると信じて毎日観察していました。発現には3年かかりましたが、必ず出るという信念が実ったところに面白さを感じています。

【今後の展開】花屋さんの話では、若い花嫁は前撮りに薄ピンクの花を使いやすい、とうかがいました。多くの花嫁に、ソメイヨシノのような淡いピンクのブライダルセブンスターローズを使っていたらいいと思います。また、育種を続け、ブライダルシリーズとしてシリーズ化していくことが目標です。

ブリーディング特別賞

品目名：ダリア
 品種名：オレンジストーン
 受賞者：株式会社ミヨシ (山梨県)
 育成者：天野 良紀
 育成者権者：株式会社ミヨシ
 HP：www.miyosi.co.jp

審査講評：オレンジ色系ダリアの花弁の硬い品種として使いやすい。花色はややレンガ色がかかったシックなオレンジ色。茎は細く固く仕上がっている。一般来場者の人気投票では、切花部門第7位に入賞。非常にバランスの良い品種としてブリーディング特別賞を受賞した。



■受賞者コメント

【開発の経緯】オレンジ花色で周年出荷できる主力品種がないために、オレンジの主力品種を目指して開発を行った。

【開発のコンセプト】周年栽培でき、花持ちが良く、早生性に優れる品種を開発目標とした。

【発見・開発の面白さ、難しさ】育種目標に沿って育種することはもちろんだが、その中でも予期せぬ品種ができることがあり、面白さを感じる。その反面育種目標に忠実な品種を作ることに難しさを感じる。

【今後の展開】周年栽培できる切り花向けダリアの品種は少ないのが現状である。今後周年栽培できる切り花向けダリアの品種拡充に努める。

モニター特別賞（人気投票第1位）



品目名 : ダリア
 品種名 : イエロークォーツ
 受賞者 : 株式会社ミヨシ（山梨県）
 育成者 : 天野 良紀
 育成者権者 : 株式会社ミヨシ
 HP : www.miyosi.co.jp

審査講評：鮮明なレモンイエローが目を惹く。淡い黄色系という花色のダリアは流通量が非常に少ないが、この品種は花卉のシミが目立ちにくく、傷がついても変色しにくく、花の日持ちがとても良い。待望の黄色系品種と言える。一般来場者の人気投票では、切花部門第1位を獲得。

■受賞者コメント

【開発の経緯】従来のダリアの黄色系切り花品種は、花卉が傷みやすく、周年を通して、流通している品種がない。そこで花卉の傷みが少なく、周年栽培できる黄色系品種の開発を目標に品種開発を行った。

【開発のコンセプト】周年栽培でき、花持ちが良く、早生性に優れる品種を開発目標とした。

【発見・開発の面白さ、難しさ】育種目標に沿って育種することはもちろんだが、その中でも予期せぬ品種ができることがあり、面白さを感じる。その反面育種目標に忠実な品種を作ることに難しさを感じる。

【今後の展開】周年栽培できる切り花向けダリアの品種は少ないのが現状である。今後周年栽培できる切り花向けダリアの品種拡充に努める。

グッドパフォーマンス特別賞 ニューバリュー特別賞 同時受賞



品目名 : ナデシコ
 品種名 : ラフィーネ かぐら
 受賞者 : 株式会社 M&Hブルーメン（山梨県）
 育成者 : 三原 健吾
 育成者権者 : 株式会社ミヨシ
 HP : <https://www.mh-bloemen.co.jp/>

審査講評：和風の雰囲気をもつ小輪のナデシコ。アレンジなどで雰囲気をだすのに使いやすい。咲き終わった花ガラを取り去ることで、蕾も開花するので長く楽しめる。ボリューム感よく組み合わせもしやすいこと、最近の小輪系の需要が高まりもあり、グッドパフォーマンス特別賞とニューバリュー特別賞を同時受賞した。一般来場者の人気投票では、切花部門第4位。

■受賞者コメント

【開発の経緯】2010年度に育成者保有系統同士の交配を行ない、2011年度に実生選抜、2012年度に2次選抜、2013年度以降、3次選抜～外部試作を経て商品化に至る。

【開発のコンセプト】花持ちが良く、花径2cm前後の極小輪タイプの今までにない新しいタイプの切り花の育成。

【発見・開発の面白さ、難しさ】10種類以上のナデシコの原種の遺伝子を導入し育成を行なってきたので、様々なタイプの花型及び花色の出現を見ることが出来る。

【今後の展開】今まで以上に花が上部に集まるタイプの系統の作出。オレンジ、グリーン、白等の更なる花色追加。切り花だけではなく、ポット系ラフィーネの作出。

モーストジョイ特別賞



品目名 : トルコギキョウ
 品種名 : ボン・ボヤージュ®スイートピンク
 受賞者 : 株式会社 サカタのタネ (神奈川県)
 育成者 : 森 一俊
 育成者権者 : 株式会社 サカタのタネ
 HP : <http://www.sakataseed.co.jp>
 審査講評 : フリル状のしっかりとした花弁をもったボン・ボヤージュ®タイプのピンク色系品種。中大輪系(やや中輪)で花型に安定感あり。その花があるだけでリッチな気分、ロマンチックな気持ちになる花として、モーストジョイ特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】豪華なフリンジ八重咲きで市場性に富み、かつ生産者にとって栽培しやすい花を育成したいという思いから。

【開発のコンセプト】冬から春期の栽培では、チップバーン、プラスチックの発生、枝数の減少など栽培上の問題が発生しやすいが、そのような時期でも生産者が栽培しやすく、かつ花色のきれいなピンク色の品種を育成する。

【発見・開発の面白さ、難しさ】概して、フリンジが強く豪華な花はチップバーン、プラスチックが起き易いが、花の豪華さと栽培しやすさを両立させる点が一番難しいところでした。

【今後の展開】同じ開発コンセプトでの他花色を開発する。

カラークリエイト特別賞



品目名 : トルコギキョウ
 品種名 : アンバーダブル モヒート
 受賞者 : 株式会社 サカタのタネ (神奈川県)
 育成者 : 森 一俊
 育成者権者 : 株式会社 サカタのタネ
 HP : <http://www.sakataseed.co.jp>
 審査講評 : フリンジ状の花弁を持った大輪八重咲き変形雌ずいタイプ。インパクトある濃い緑色にはつやもあり、新たな花色の創造を期待させる品種としてカラークリエイト特別賞を受賞した。一般来場者の人気投票では、切花部門春審査会で第2位となった。

■受賞者コメント

【開発の経緯】これまで、変形しずいを有する品種には大輪フリンジ咲きのものがなかったため、両性質をかねそらえた花を育成したいという思いから。

【開発のコンセプト】変形しずいを有し花持ちがよく、光沢のあるグリーンでかつフリルが入る豪華な品種を育成する。

【発見・開発の面白さ、難しさ】自分が思い描いていた大きさ、品質の花が始めて咲いたときの感動は忘れられません。

【今後の展開】同様の開発コンセプトに基づく追加色の育成

ライフデザイン特別賞

品目名 : トルコギキョウ
 品 種 名 : ジュリアスライトピンク
 受賞者 : カネコ種苗株式会社 (群馬県)
 育成者 : カネコ種苗株式会社
 HP : <http://www.kanekoseeds.jp/>

審査講評：

フリンジや花卉の重ねが良く、色も日本人が好むやさしいピンク色。花卉が厚く茎もしっかりとしており、消費者にも扱いやすい。生活空間を豊かにする高いデザイン性のある品種としてライフデザイン特別賞を受賞。



■受賞者コメント

【開発の経緯】フリンジ咲きのユーストマは、豪華でボリューム感のある花型のため、婚礼を中心とした業務の現場で近年多く用いられています。当社では‘エグゼラベンダー’や‘グラナスライトピンク’がフリンジ咲きの品種として人気がありますが、よりフリンジが強く花卉数の多い豪華な花型の品種を目指して開発を行ってきました。

【開発のコンセプト】フリンジ咲きの品種はロゼットや葉先枯れが発生しやすく、出荷ロスの大きな要因となっています。‘ジュリアスライトピンク’はフリンジの強い品種でありながら、ロゼットや葉先枯れの発生が少なく作り易いのが特長です。

【発見・開発の面白さ、難しさ】育種目標を設定してから品種が完成し、販売に至るまで最低でも7~8年の年月を要するため、将来的な市場動向や消費者のニーズを予測する必要があります。

【今後の展開】現在はライトピンクのみの販売ですが、同様の特性で花色のバリエーションを増やしていく予定です。

グッドパフォーマンス特別賞



品目名 : トルコギキョウ
 品 種 名 : レイナ (2型) リラ
 受賞者 : 株式会社 サカタのタネ (神奈川県)
 育成者 : 森 一俊
 育成者権者 : 株式会社 サカタのタネ
 HP : <http://www.sakataseed.co.jp>

審査講評 : 花卉にやわらかなフリルが入るレイナシリーズの深いラベンダー色の品種。セミダブルタイプの特長がよく現れ、大輪だがエレガントな印象を受ける。一般来場者の人気投票では、切花部門第6位に入賞。1輪でも存在感ある草姿で、グッドパフォーマンス特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】大輪で豪華な花形をもつレイナシリーズにラベンダー花色の品種を追加色として育成したいと考えたから。

【開発のコンセプト】大輪で花卉に少しウェーブのかかった濃い目のラベンダー品種を育成すること

【発見・開発の面白さ、難しさ】ラベンダーは花卉が薄めのため、極力花卉が厚くなるように工夫した点。

【今後の展開】同じ花色で、もう少し強くフリンジがかかる品種の開発を行いたい。

ブリーディング特別賞



品目名 : オキシペタルム
品種名 : シェーンブルー
受賞者 : カネコ種苗株式会社 (群馬県)
育成者 : 徳弘 晃二
育成者権者 : カネコ種苗株式会社
HP : <http://www.kanekoseeds.jp/>
審査講評 :

かわいらしい丸みのある花型、花穂が良く詰まり、ボリュームが出ている。一般来場者の人気投票では、切花部門第10位に入賞。高温期に発色が良く、退色しにくいところが評価され、ブリーディング特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 オキシペタルムは非常に品種が少なく、生産者や消費者が品種を選択することができないため、新しい品種の開発を行うことにしました。新品种が登場することにより、オキシペタルムのさらなる普及にもつながるものと考えました。

【開発のコンセプト】 オキシペタルムの青系品種は高温期に花色が退色する（白っぽくなる）欠点がありますので、この改良に主眼を置きました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 人工交配が非常に難しいため、狙った組み合わせの種子を取るのに苦労します。それゆえ、思った組み合わせの花が咲いた時は喜びも大きいです。

【今後の展開】 青系ではシェーンブルーの特徴を持ったより早生の品種を開発したいと思っています。また、ピンク系や白系品種の開発も行っていきたいと思えます。

ジャパンデザイン特別賞



品目名 : サクラ
品種名 : 娘女忍 (むすめくのいち)
受賞者 : JFC石井農場 (京都府)
育成者 : 石井 重久
審査講評 : 花つきが良く、ボリューム感があり、一重咲きながら見ごたえがある。花弁にツヤがあるところも魅力。



ライフデザイン特別賞



品目名 : バラ
品種名 : ガランス
受賞者 : やぎばら園 (静岡県)
育成者 : やぎばら園

審査講評 :
「ガランス」は茜色と言う意味。グレイッシュな独特のピンク色の花色は、開花とともに少しずつ変化する。咲き進むと花型もゴージャスな印象に変わってくる。一般来場者の人気投票では、切花部門第8位に入賞。生活空間を豊かにする高いデザイン性のある品種としてライフデザイン特別賞を受賞。

ニュースタイル特別賞



品目名 : バラ
品種名 : ラロック
受賞者 : やぎばら園 (静岡県)
育成者 : やぎばら園

審査講評 : 花型のインパクトの強いバラ。中心部の突出した「グリーンアイ」が印象的。個性的な花型だが、花色はオレンジ～クリーム～グリーンがランダムに混ざった他の花色との馴染みの良い色。少し個性的なアレンジや花束に新しいスタイルの花として喜ばれるだろう。ニュースタイル特別賞を受賞。

ライフデザイン特別賞



品目名 : セロシア
 品種名 : アスカセレクト キラレッド
 受賞者 : 株式会社 明日香園(佐賀県)
 育成者 : 山口 秀行
 HP : <http://www.asukaen.com>

審査講評 :

光沢のある深いインパクトある赤の花色、ウェーブの美しさ、ボリューム感は、主役にも十分なりうる存在感がある。花首、ステムは硬くしっかりとしており使いやすい。さまざまなデザイン、用途へとインスピレーションを掻き立てる高いデザイン性のある品種として、ライフデザイン特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】12年前にロンドンの展示会で出会ったボンベイケイトウに衝撃を受け、生産を開始。10年前から育種に取り組み、なんども諦めようと思いましたが、もう一回だけ種を蒔いてみようを繰り返し、近年魅力的な品種が多く発生し始めた。

【開発のコンセプト】世界で一番輝く、ボンベイレッドを作りたい。キラレッドの輝きは屋外では写真には映らないほど輝いており、屋内での鑑賞に十分耐えうる性能を持っています。

【発見・開発の面白さ、難しさ】石化しにくく、ステムが硬い品種を選抜し、その中から様々な色のバリエーションを育種していくことを模索しています。ボンベイケイトウは時期によって全く振る舞いが異なるため、時期にあった品種を探し育種することが非常に困難です。しかし、様々な個性を持つ個体が多く発生するため、交雑した種をまく瞬間はいつもワクワクでいっぱいです。

【今後の展開】色幅の充実、傷みにくい品種の開発など。



ブリーディング特別賞



品目名 : セロシア
 品種名 : アスカセレクト アンティークピンク
 受賞者 : 株式会社 明日香園(佐賀県)
 育成者 : 山口 秀行
 HP : <http://www.asukaen.com>

審査講評 : シックなアンティークカラーのセロシア。光沢感やボリューム、ウェーブの美しさはキラレッドと同様に秀逸。他の花材とも相性の良いニュアンスカラーで、活用の場面が広い。育種技術により花のデザイン・芸術性・商品性を高めた品種としてブリーディング特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】12年前にロンドンの展示会で出会ったボンベイケイトウに衝撃を受け、生産を開始。10年前から育種に取り組み、なんども諦めようと思いましたが、もう一回だけ種を蒔いてみようを繰り返し、近年魅力的な品種が多く発生し始めた。

【開発のコンセプト】どんな花材にも合わせやすい、オールマイティなボンベイケイトウを作りたい。落ち着いたアンティーク調のピンク色はゆるやかなウェーブと相まって他の花材と調和し、全体のデザイン性と独自性をより高めることが可能です。

【発見・開発の面白さ、難しさ】石化しにくく、ステムが硬い品種を選抜し、その中から様々な色のバリエーションを育種していくことを模索しています。ボンベイケイトウは時期によって全く振る舞いが異なるため、時期にあった品種を探し育種することが非常に困難です。しかし、様々な個性を持つ個体が多く発生するため、交雑した種をまく瞬間はいつもワクワクでいっぱいです。

【今後の展開】色幅の充実、傷みにくい品種の開発など。



ニュースタイル特別賞・カラークリエイト特別賞



品目名 : ダリア
 品種名 : NAMAHA GE オープ
 受賞者 : 秋田県
 育成者 : 鷲沢 幸治
 育成者権者 : 秋田県
 HP : <http://www.pref.akita.lg.jp/>
 審査講評 : ステラー咲きの中輪品種。花卉の表裏で異なる色を持ち、見る角度でも花色が違って見え、ミステリアスな印象。
 カラークリエイト特別賞と斬新で優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞の2つの特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】市場からアンティーク調の花色の品種が求められていたことから、開発を目指した。

【開発のコンセプト】見る角度によって花色の変化が楽しめる今までにないダリアの品種を開発した。

【発見・開発の面白さ、難しさ】よい品種同士を人工交配しても、優れた子孫を残すとは限らず、狙いどおりに行かないところが難しい。

逆に、虫媒等の自然に任せた交配で優れた特性の子孫を残す場合があり、偶然性の面白さがある。

【今後の展開】NAMAHA GE ダリアのさらなる拡充を目指す。

ライフデザイン特別賞



品目名 : ダリア
 品種名 : NAMAHA GE クリムゾン
 受賞者 : 秋田県
 育成者 : 鷲沢 幸治
 育成者権者 : 秋田県
 HP : <http://www.pref.akita.lg.jp/>
 審査講評 : 人気の高いダリア「黒蝶」をさらに大きくしたような品種。濃い赤を塗り重ねたような深い黒赤は、高級感が漂い都会的。エレガントな雰囲気を持つ「黒蝶」と比べると、先端の尖った花卉の重なりが際立ち男性的な力強さを持っている。
 生活空間豊かにしてくれる品種としてライフデザイン特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】市場から濃い赤色を塗り重ねた黒色の花色の品種が求められていたことから、開発を目指した。

【開発のコンセプト】類似品種の「黒蝶」よりも樹勢が強く、男性的な魅力を楽しめる品種を開発した。

【発見・開発の面白さ、難しさ】よい品種同士を人工交配しても、優れた子孫を残すとは限らず、狙いどおりにいかないところが難しい。

逆に、虫媒等の自然に任せた交配で優れた特性の子孫を残す場合があり、偶然性の面白さがある。

【今後の展開】NAMAHA GE ダリアのさらなる拡充を目指す。

ニューバリュー特別賞



品目名 : ダリア
 品種名 : NAMAHAIGE ニュアンス
 受賞者 : 秋田県
 育成者 : 鷲沢 幸治
 育成者権者 : 秋田県
 HP : <http://www.pref.akita.lg.jp/>
 審査講評 : コロンとしたボール咲きのキュートな花型。色はシックもキュートにも見える絶妙なピンク色のグラデーションで、濃いピンクから淡いピンクまで他の花材と合わせ易い。

■受賞者コメント

【開発の経緯】市場からボール咲きで綺麗なピンク色の品種が求められていたことから、開発を目指した。

【開発のコンセプト】花色は薄くもなく、濃くもなく、今までにないシックな大人の感じの色合いになるように開発した。

【発見・開発の面白さ、難しさ】よい品種同士を人工交配しても、優れた子孫を残すとは限らず、狙いどおりに行かないところが難しい。

逆に、虫媒等の自然に任せた交配で優れた特性の子孫を残す場合があり、偶然性の面白さがある。

【今後の展開】NAMAHAIGE ダリアのさらなる拡充を目指す。

グッドパフォーマンス特別賞



品目名 : ヒマワリ
 品種名 : ビンセント® (2型) ネーブル
 受賞者 : 株式会社 サカタのタネ (神奈川県)
 育成者権者 : 株式会社 サカタのタネ
 HP : <http://www.sakataseed.co.jp>
 審査講評 : 上向きに開花するヒマワリ「ビンセント®」シリーズの中で最も濃いオレンジ色に黒芯の品種。花茎が硬く、アレンジメントや花束に使いやすい。初夏から夏にかけてのイメージの強いヒマワリだが、この濃い温かみのあるオレンジ色は、ハロウィンなどの秋用の装飾にも馴染む。ヒマワリの用途を広げるすばらしい品種。

【開発の経緯】ヒマワリは、「向日葵」という字の通り、太陽の方へ花を向ける性質があります。朝は東を向き、太陽の動きと共に西へと花の向きを変え、夜間に再び東に戻して太陽が昇るのを待ちます。切花出荷時に茎が柔らかいことは、ヒマワリのもつこの特性によるものでした。しかし、出荷ロスの軽減や、生花屋店での扱いやすさの面などから、茎が硬い品種を求める声は多く、その声に応えるべく品種改良を進めました。

【開発のコンセプト】ビンセントシリーズのもつ「発芽性の良さ」「上向き」の性質はそのままに、「花色が濃いオレンジ色で、茎が硬いヒマワリ」の育成を目指しました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】茎が柔らかいことは、ヒマワリが太陽の方へ花を向ける特性によるものであるため、出荷時に茎が硬い品種にすることが難しかったです。また、花色のオレンジ色の濃さを追求して育成し、夏だけでなく、ハロウィンイベントなど幅広い用途で使っていただけるように工夫しました。

【今後の展開】海外では深刻な問題となっているベト病に対する抵抗性の付与などを行っていきたくです。また茎の硬さ、花型をそのままに新しい色の品種を作って行きたいと思っております。

鉢物部門 春審査会
フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）
島根県 アジサイ 「銀河」



品目名 : アジサイ
品種名 : 銀河
受賞者 : 島根県
育成者 : 島根県
HP :

<http://www.pref.shimane.lg.jp/nogyogijutsu>

審査講評 爽やかなブルーに白の縁取り、一輪一輪が風車のような華やかさを持ち、柔らかな花房が目目をひく。また、花の中央部分の咲き方もユニーク。花の様子とネーミングも良くマッチしている。一般的に人気のある5寸サイズの鉢より、もっと大きく作ってその魅力が発揮できるタイプのアジサイとして、豪華なギフト商品に向く。一般来場者の人気投票でも圧倒的な支持を受け切花・鉢物合わせての総合第1位（グランプリ）となった。

■受賞者コメント

【開発の経緯】

平成17年頃より島根県鉢花生産における経営改善を目的に、基幹品目であるシクラメンと作業競合せず、収益性の高い品目として「母の日」用アジサイに注目しました。

市場調査の結果から、新規性を持つ品種が受け入れられる素地があると判断し、島根県にしかないオリジナル性の高い品種の育成を開始しました。また、並行して、生産現場へのアジサイ導入も進めてきました。

選抜段階から生産者、市場等と協力して商品開発を進め、消費ニーズに合う品種を選抜しました。

【開発のコンセプト】

「母の日」の贈り物」として、「贈る人」「贈られる人」共に喜んでもらえる品種の開発

【発見・開発の面白さ、難しさ】

実生苗約12,000本中の1株が「銀河」です。

「銀河」の開花始めは、ガク咲きの様相でしたが、その後、咲き進むにしたがって花房中央部にある装飾花のガク片が伸長し、これまでにない花容に変化しました。これを観察した時には、アジサイの可能性の大きさに心を打たれるとともに、大きな感動がありました。

【今後の展開】

これまで「万華鏡」「美雲」「銀河」と八重のテマリを中心とした品種を作出してきましたが、今後は、わい性で多花性の品種や八重のガク咲き品種等、これまでとは異なった方向性で、皆さまにアジサイの魅力をもっとお伝えできる様、オリジナル品種の育成を目指したいと考えています。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ブリーディング特別賞 同時受賞]



品目名 : アジサイ
 品種名 : Angel Waltz(エンジェルワルツ)
 受賞者 : 久保田花園(群馬県)
 育成者 : 久保田 哲也
 HP : <http://www.is-flower.com/>
 審査講評 : ウェーブがかった花弁と咲き始めのイエローグリーンからピンク～濃いピンク～赤色のグラデーションが美しい。ガク咲きから半手まり状に変化する花型も新規性が有る。名前の印象とは異なり、和の雰囲気も持っている。第一印象の美しさもさることながら、花色、花弁、咲き方等変化を楽しめる点が高く評価され、ベスト・フラワー（優秀賞）とブリーディング特別賞を同時受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】市場では手まり咲きのアジサイが主流の中で、がく咲きで今までにない品種を目指しました。フリル状の花弁も華やかで珍しいと思います。

【開発のコンセプト】可憐さと優雅さを感じさせる新しい品種を目指しました。また分枝の良さ、花付きの良さなど生産者目線でパフォーマンスの良さなどを考えて選抜と育種に取り組みました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】開発においての難しさは、生産するうえでのパフォーマンスの良さ(分枝、花付き)などの優れた個体の選抜が苦労しました。

【今後の展開】今後の展開については、今回の品種に限らず、オリジナル品種の育種に取り組みそれらを「創作アジサイシリーズ」としてラインナップを充実させていきたいと思っています。

また、消費者にも育てる楽しさ等も提案できればと思います。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ニューバリュー特別賞 同時受賞]



品目名 : ペラルゴニウム
 品種名 : シーシェルラベンダー
 受賞者 : 鈴木清次/株式会社 サカタのタネ(神奈川県)
 育成者 : 鈴木清次
 HP : <http://www.sakataseed.co.jp>
 審査講評 :

透きとおるような青みがかかったクリアなランベンダー色が春らしく、爽やかさが目をひく。ゼラニウムに似た花型、花数の多さも見応えがあるが、全体にはふんわりと柔らかい印象。来場者の人気投票では鉢物部門第4位。

草姿と花色は従来のペラルゴニウムになく、今までにない新しい価値を感じさせる品種としてベスト・フラワー（優秀賞）とニューバリュー特別賞を同時受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】大輪系から小輪系へといった流行の変化に伴い、新しいタイプのペラルゴニウムの育種をスタートし、雑多な集団との交雑を開始しました。この品種は平成15年に交雑を行った系統からの選抜になります。

【開発のコンセプト】ペラルゴニウムにはない、すっきりとしたラベンダー色の花色と星状になる花弁が特徴になります。赤みのすくないラベンダー色は実生交配を繰り返してもなかなか出せない色になります。

【発見・開発の面白さ、難しさ】難しさはペラルゴニウムは交配が難しく、なかなか種子が取れませんし、取れたとしても狙った結果がなかなか得られないところです。しかし、予想もしなかった形質も得られることから、交配元の植物の歴史等に思いが膨らむという面白さが見られます。

【今後の展開】ペラルゴニウムをもっと使っていただけるよう幅広い花期をもてるように育種していきたいです。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ジャパンデザイン特別賞 同時受賞]



品 目 名 : ペチュニア
 品 種 名 : ヴァルゴ アンティークストライプ
 受 賞 者 : 松原園芸(群馬県)
 育 成 者 : 松原 紀嘉
 HP : <http://matsubaraengei.blog.fc2.com>
 審査講評 : 黒、白、小豆色のストライプ模様というファッショ
 ン性の高いユニークな花色の極小輪ペチュニア。絶
 妙な色のコンビネーションに新規性を感じる。花後
 に種子がつかず、株が長持ちし、摘芯無しでも株が
 ドーム状にまとまり、誰にでも育てやすい。
 ベスト・フラワー（優秀賞）とともに、日本の美意
 識やデザイン性を感じる品種として、ジャパンデザ
 イン特別賞も同時受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】今までのペチュニアにはない小輪多花性で、なおかつ新しい花色を作り出すことを目標として、交配選抜を行っ
 た。また、コンパクトな株張りで、育てやすいペチュニアの開発を目指した。

【開発のコンセプト】これまでにないアンティークカラー/分枝性と株張りの向上/小輪多花性と連続開花性/不稔性による花持
 ちの向上/1株でも大きく育ち、楽しめるパフォーマンス性

【発見・開発の面白さ、難しさ】交配から選抜を行い、今までにない色合いを作り出せた。その後、いろいろな環境条件、場所
 で植栽試験をし、耐病性、耐環境性、開花性も調査し、既存品種以上のパフォーマンスを得られた。また、分枝性がすぐれ、株
 張りもよいので、寄せ植えやハンギングでも使える商材になると思った。

【今後の展開】同様に小輪多花性タイプで色幅を増やして、シリーズ化し、春から長く楽しめる商品として提案していきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞） [カラークリエイト特別賞 同時受賞]



品 目 名 : ファレノプシス
 品 種 名 : アイ あかね
 受 賞 者 : アイファーマーグループ 蘭工房(愛知県)
 育 成 者 : 服部 健治
 審査講評 : 赤みの強いマットなサーモンピンク
 の個性的な花色がすばらしい。気品
 ある雰囲気は、珍しいタイプのファ
 レノプシスを求める人へのパーソ
 ナルギフトや母の日のプレゼントにも
 好適。新たな花色の想像を評価され、
 ベスト・フラワー（優秀賞）とカ
 ラークリエイト特別賞を同時受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】ミディファレの変り色の新品種を新た
 に開発したく様々な交配を試みるにあたり、深みのある
 色彩を持ったファレノプシスができました。

【開発のコンセプト】花持ちの良さと最初から和名を
 意識した色彩を持った品種を狙って作りだそうと思い
 ました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】黄色やオレンジ色の
 色合いに出やすい花色の変化が開花後の時間の経過と
 共に出てくるために、その変色を楽しめる面白さがあり
 ます。

【今後の展開】独特の色味を持ち合わせた花持ちの良
 い品種を今後も開発していきたいです。

ブリーディング特別賞



品目名：ランンキュラス
 品種名：イオ
 受賞者：有限会社 綾園芸(宮崎県)
 育成者：草野修一
 HP : <http://www.ayaengei.com/>

審査講評：従来にないユニークな花型、リボンをランダムに捻った様な花弁は、うっすらとピンクを帯びたかわいらしい色。草姿もバランス良く、鉢物向き。芽立ちよく長期間に渡り楽しめる。

花型、花色ともバラエティに富んだランンキュラスが増えてきたが、イオのような変わり咲きにもまた、色幅の広がりや花弁の厚さの改良などの期待ができる。これまでに無い形質を生み出し、ブリーディング特別賞を受賞した。

【開発の経緯】 シューアン・アブリコット系の色揃いを良くしようと交配した実生の中からおかしな蕾が出てきた。咲いてくるとはじめのうちは観賞価値があるのか疑問に思うような貧弱な花だが、咲き進むと「江戸菊」のような趣が出て来てとても面白い花となった。その後球根で再試作を繰り返し形質が安定していることを確認して品種とした。

【開発のコンセプト】 花の可能性を引き出す。驚きと感動を受けるような花を。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 思いもよらないような花が咲いたときなかなか自分で思い描くような花が咲いてくれない。

【今後の展開】 わずかでも可能性があればそれを追求したい。イオに関しては色違いを作りたい。

カラークリエイト特別賞



品目名：アジサイ
 品種名：ディープパープル
 受賞者：株式会社ハクサン(愛知県)
 育成者：Schroll flower
 育成者権者：有限会社ジェー・アンド・エッチ・ジャパン
 HP : www.hakusan1.co.jp

審査講評：インパクトある濃い花色が目を引き。コンパクトなサイズながら強健な性質で、しっかりと花を咲かせるところが素晴らしい。

深いブルー、マットな質感の花弁が「静かな美しさ」のある素晴らしい品種として、カラークリエイト特別賞を受賞した。

来場者の人気投票では、鉢物部門第2位。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 デンマーク スクロール社によって開発された品種。オランダや日本で育種されたアジサイが多い中、デンマークとしては初めて商業的に育種されたハイドランジア マクロフィラだが、すでにオランダ、イギリス、アイルランドの国際見本市で受賞し大きな注目を集めています。

【開発のコンセプト】 従来になかった濃い紫色の品種。これまでにない分枝の良さが特徴で、小鉢でも多くの花を付けます。花弁も厚く、花持ちが良いです。

また茎が非常に太いためリングなどなくても、キレイに自立します。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 何千もの交配、選抜を行い、ようやく上記の特徴を全て兼ね備えた品種を開発することができました。

【今後の展開】 色幅を少しずつ広げていく予定です。

ライフデザイン特別賞



品目名：カランコエ
 品種名：ステファニー
 受賞者：株式会社ハクサン(愛知県)
 育成者：Fides B.V.
 育成者権者：有限会社ジェー・アンド・エッチ・ジャパン
 HP : www.hakusan1.co.jp



審査講評：かわいらしくカールする独創的な花弁が、従来のカランコエとはひと味違った印象。つぼみ、咲きはじめ、開花とステージの違う状態が華やかなグラデーションを作っており、賑やかに見える。結実しない八重咲きのために花もち是非常に長く、コンパクトで株全体を覆うほどに花が付き、ちょっとしたギフトにも自分用にも手にとりやすい。生活空間を豊かにするシーンが想像できる品種としてライフデザイン特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】世界初の八重カランコエ カランディーバやミリオンスターでお馴染みのオランダDummen Orangeによる最新カランコエです。

【開発のコンセプト】カランコエは花が咲き、且つイージーケアな植物として特にヨーロッパで欠かせない商品となっています。そのカランコエの良い部分を残しつつ新しいチャレンジとして花にカールが品種を開発しました。従来のカランコエのイメージとは一味違うラブラーなイメージの花となったかと思えます。

【発見・開発の面白さ、難しさ】新規性の高い特徴的な商品でも生産性や基本的な花つきなどを落とさず生産者様にも、消費者様にも満足いただけるレベルに仕上げることです。

【今後の展開】基本ラインナップをしっかりと改良しつつも、このようなユニーク品種の開発にも力を入れていきます。

フレグランス特別賞



品目名 : ミルトニア
 品種名 : エンザンサンライズ
 受賞者 : 株式会社向山蘭園 (山梨県)
 育成者 : 向山 武彦
 HP : <http://www.mukoyama.jp>

審査講評 : 目を引く華やかなクリームイエローと、中央部の赤~パープルの花色がぱっと目をひく。来場者の人気投票では鉢物部門第5位に入賞。花色と葉色のコントラストも美しく、正面に花を向けた立ち姿、耐暑性に優れたところも良い。さわやかな芳香も楽しめることから、フレグランス特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】ミルトニオプシス(通称:ミルトニア)は、夏季最高気温27度位、冬季最低気温5℃位の熱帯の高地に自生しており、これらの原種を交配して出来た改良種は日本の気象下では栽培が難しい。そのため夏季高温下でも栽培可能な耐暑性を持つ品種開発を進めてきた。また、ミルトニアの主力は赤系であったので、営利性のある黄色品種の開発を進めてきた。

【開発のコンセプト】1. 日本の夏季高温下で栽培が可能なミルトニア品種開発 2. 営利性の高い黄色のミルトニア品種開発 3. より開花期の長いミルトニア品種開発

【発見・開発の面白さ、難しさ】実際の栽培現場では、旧来の品種に合せた栽培を行っていたため、耐暑性が上がっていることになかなか気が付かなかった。2014年の大雪で温室修理が必要になった際、どうしても夏場暑い場所に置かなければならなかった時'エンザンサンライズ'は高温下でもダメージが出ず、従来品種に比べて耐暑性が上がっていることに気付いた。いくつかの新品種同様品種開発目標が達成されたことに育種をするものとして感慨がある。

【今後の展開】ミルトニアは様々な花色の品種があるので、このような物の耐暑性、耐病性をさらに高める改良進めて行きたい。又、ミルトニアの持つ良い香りがこの属の特徴なのでより良い香りを持ち営利性の高い品種開発を進めて行きたいと考えております。

グッドパフォーマンス特別賞



品目名：シクラメン
 品 種 名：ピポカ マゼンタ
 受賞者：株式会社ハクサン(愛知県)
 育成者：Morel Diffusion
 HP : www.hakusan1.co.jp
 審査講評：独創的な花卉の形と、深いマゼンタ色の花色と濃い葉色のコントラストが都会的。ピポカはポルトガル語でポップコーンの意味で、フリンジの強い花型は、かわいらしくもエレガントにも見える。シクラメンをよく知る人に送るギフトアイテムとして珍重される。



■受賞者コメント

【開発の経緯】南フランスにて90年以上にわたり、シクラメンの選抜育種および栽培を専門に行っているモレル ディフュージョン社により開発されたユニークな花型のシクラメンです。

【開発のコンセプト】ピポカはポルトガル語でポップコーンを意味し、フリルのかかった蕾はまるで弾けたポップコーンのように見えます。F1品種ではとてもめずらしい花型です。また株のボリュームが出やすく、豪華に咲かせられます。

【発見・開発の面白さ、難しさ】モレルの品種はどれも8~10年におよぶ仕事の成果です。

モレルの品種開発は、温暖で光り輝く、シクラメン育種には厳しいとも言える気候の南フランスで行われています。系統の選択条件には、花数の多さ、花形、色の鮮明さ、株の締まりなど様々なものがありますが、もちろん耐暑性も大切な条件の一つです。これらの基準をクリアしているからこそ特に強健な品種開発が出来ているのです。

【今後の展開】シクラメンの新たな魅力をお見せできる品種を引き続き開発します。

フレグランス特別賞

品目名：オンシジウム
 品 種 名：ツィンクル ピンクフレグランスファンタジー
 受賞者：永利園芸(福岡県)
 育成者：永利 茂信

審査講評：素晴らしい芳香のオンシジウム。花色は落ち着いたピンク色で葉はややワイルド。少し離れてみると自然風で一層かわいらしい雰囲気がある。

部屋の中で香りを楽しめる魅力が評価されフレグランス特別賞を受賞した。



ニュースタイル特別賞



品目名：ファレノプシス

品種名：羽衣

受賞者：株式会社マルイ洋蘭開発センター(群馬県)

育成者：伊早坂 栄作

HP : <http://www.e-hanaran.com>

審査講評：純白の大輪系のファレノプシスで、頬紅のように横向きのラインでピンク色のグラデーションが入る品種。赤いリップも一輪一輪を立体的に見せている。法人向けのお祝い花としてひと際目立つ商材になりそう。斬新で優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】以前より、赤リップ系の大輪の栽培の難しさ、花持ちに納得できないでいた。

【開発のコンセプト】花もち良く、開花性が良く、栽培トラブルがない。

【発見・開発の面白さ、難しさ】1000株以上の実生苗から選別し、時間をかけメリクロンかけていく。理想的な仕上がりはとても難しいが、だからこそイメージした品種に出会えた時の感動は大きい。

【今後の展開】まだ、改良していく点もあるし、変異にどう対応していくか、安定的な栽培数を確保し、多くの方に胡蝶蘭の魅力を伝えられるよう販売を拡大していきたい。

ライフデザイン特別賞



品目名：バラ

品種名：ゴールド インフィニティ®

受賞者：株式会社ハクサン(愛知県)

育成者：Roses Forever ApS

育成者権者：J&H Japan

HP : www.hakusan1.co.jp

審査講評：人気のインフィニティシリーズの新色。弁質が厚く、光沢のある葉は同シリーズの特徴で、長い日もちが推測される。濃いゴールドカラーの中輪花は、丸くかわいらしい花型で、株のまとまりも良く、室内で楽しめるバラとして生活空間を豊かにし、また消費者にとって扱いやすい特性を持つ品種として、ライフデザイン特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】インフィニティはポットローズの常識を覆す花持ちの良さ、豪華な花が人気のシリーズです。従来品種のホワイト、ライトピンク、ピンクに加えて色幅の拡大を目指し、新色「ゴールド」を開発しました。

【開発のコンセプト】今までのポットローズでは考えられないほどの花持ちの良さ、花卉が多く豪華な花、丈夫な茎によりしっかり自立する株がインフィニティシリーズの特徴です。デンマークのRose Forever社 女性育種家「ローザ」は、ポットローズに新たな可能性を与えるシリーズとして、「インフィニティ(無限大)」という名を与え、育種を行っています。

【発見・開発の面白さ、難しさ】従来のポットローズ品種は、交配の過程で組み込まれたミニチュアローズの遺伝的影響を強く受けており、株だけでなく花も小さい傾向でした。小ぶりな草姿に鑑賞価値の高い巨大輪を付ける個体を生み出すことは、長年の挑戦でした。さらに従来品種は一輪の花が2~3週間しか維持されないのに対し、インフィニティにおいては倍以上の花持ちが実証されています。

一方でこれらの特徴を保ちながら、色幅の拡充をしていくことは容易ではありません。

【今後の展開】引き続き新たなインフィニティ、そして新たなタイプのバラを皆さんにお楽しみできるように開発を続けていきます。

「ビスタミニブルースター」

品目名 : ペチュニア
品種名 : スーパーチュニア®
 ビスタミニブルースター
受賞者 : 株式会社ハクサン(愛知県)
育成者 : Plant 21 LLC
育成者権者 : 株式会社J&Hジャパン
HP : www.hakusan1.co.jp
審査講評 : 青色と白色の爽やかなバイカラーがくっきりと出る小輪タイプのペチュニア。このインパクトある複色は、栽培観察中のどの時期に見ても退色なく安定していた。小輪の花が多くつき、にぎやか。ピンチをしてもしなくてもよく咲き、草姿もコンパクトで大きく乱れることが無い。

分枝性、連続開花性があり、花色の安定感、花がらが目立たない手間のかからなさ、どれをとってもよく考えられた育種。安心して消費者におすすめできるすばらしい品種。



▲定植後22日の露地花壇・群落植栽の様子（6/15撮影）

▲定植後34日の露地花壇・群落植栽の様子（6/27撮影）

▲定植後50日の露地花壇・群落植栽の様子（7/13撮影）
*7/6ピンチ

▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子（8/8撮影）
*ピンチ後33日

■受賞者コメント

【開発の経緯】スーパーチュニア ビスタシリーズは暑さや雨、病気に対する強さ、生育の旺盛さ、傷んだ場合の回復力において数ある栄養系ペチュニアの中でも群を抜く強さを持っています。第一弾品種ビスタピンクの発表から2017年で10年を向かえ、日本のみならず世界中で愛されています。

一方で住宅環境の変化に伴い、小さなスペースでも綺麗にまとまって咲く、しかも強く栽培が簡単な品種という需要も大きくなってきています。それがビスタ ミニシリーズ開発の背景です。

【開発のコンセプト】従来のビスタは生育旺盛で大鉢や植栽などに欠かせない植物ですが、ビスタ ミニでは小鉢でのパフォーマンスを上げるため、花をさらに密度の高く咲かせ続ける性質を持たせました。同時に比類なき強さをもったビスタの性質を継承しています。

【発見・開発の面白さ、難しさ】新品種のために交配する何万という株の中で「ハッ」とする素晴らしい個体が稀に現れることがあります。世界5箇所で行われるPWの2年間選抜の過程でふるいにかけて99%以上は落ちていきますが、その個体が選抜を乗り越えた時はまさに神様が与えてくださった品種だと感謝します。

【今後の展開】ビスタシリーズの色幅の拡充し、色とりどりのビスタをお選び頂けるよう育種を続けています。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ブリーディング特別賞 同時受賞]



品目名 : アルギランセマム属間ハイブリッド
 品種名 : マックスマム ピンク
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : Andrew Bernuetz
 育成者権者 : Bonza Botanicals Pty Ltd
 HP : <http://suntory.jp/FLOWER/>
 審査講評 : 生育のスピードがとても早く、株はバランス良くこんもりと成長する。

従来のもーガレットのように花の高さが揃わず、微妙に高低がついて咲くことで立体的に見え、自然な雰囲気もでている。

マックスマムシリーズの中でも一番1株のボリュームがあり、花も大きかった。花の中心部は茶色で蛇の目状に見えるかわいらしく、赤い覆輪が入るところもアクセントになっていて印象的。ベスト・フラワー（優秀賞）と「育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種」としてブリーディング特別賞を同時受賞した。



▲定植後1日の屋根付き施設での様子 (3/30撮影)



▲定植後41日の屋根付き施設での様子 (5/10撮影)



▲定植後54日の屋根付き施設での様子 (5/23撮影)

■受賞者コメント

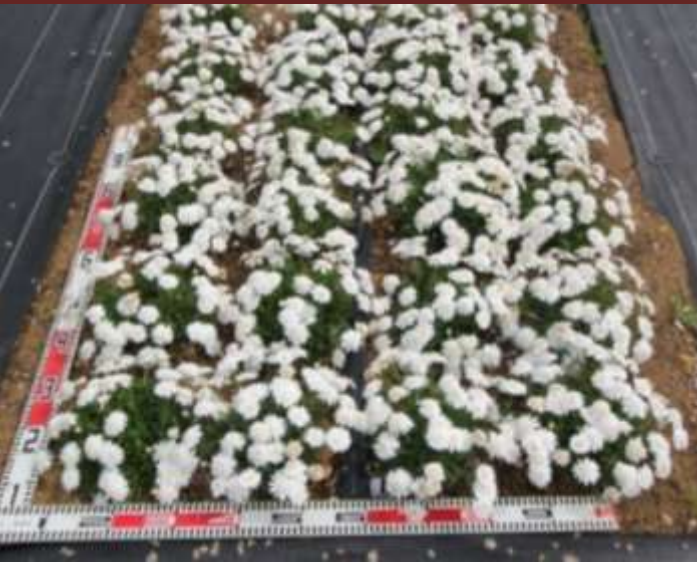
【開発の経緯】一般に広く知られるマーガレットやその近縁マム植物の殻を打ち破るべく、種属を超えた交配育種を重ねて開発に成功。特許取得済み。

【開発のコンセプト】通常マーガレットに比べ約2倍の大輪。大型でボリュームたっぷりの草姿だがこんもりとまとまりがよい。驚きの生育スピード。通常マーガレットには無い鮮やかな花色。

【発見・開発の面白さ、難しさ】容易には作り出せない属間雑種の交配に苦労したが様々な工夫を重ねて成し遂げた。その結果得られたハイブリッド植物が予想を超えるパフォーマンスを示してくれた。

【今後の展開】新たな花色を加えさらに多彩に。より安定して大きな花をつけ、庭先を長く飾れるように改良を進める。

ベスト・フラワー（優秀賞） [グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]



品目名 : マーガレット
 品種名 : ぼぼたん スイートピンク
 受賞者 : 松原園芸(群馬県)
 育成者 : 松原 紀嘉
 HP : <http://matsubaraengei.blog.fc2.com>
 審査講評 : 花色はかなり淡いピンク色。丸みを帯びた可愛い花型は、咲き進むにつれて変化する。花色はピンク色から徐々に白色に変化し、中心部はほんのりとしたピンク色になる。
 生育は旺盛で、花つきも非常に良い。誰にでも失敗無く育てやすい点が消費者にアピールしやすい。
 個人需要だけでなく、咲き揃いが良いので景観植栽にも使いやすいだろう。
 ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞。



▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子 (3/30撮影)



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/13撮影)



▲定植後26日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/25撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】松原園芸では、以前からマーガレットの生産を行っており、在来の品種のみであったため、時代の変化と消費者の嗜好の多様化に対応するため、新品種の開発をはじめた。通常の花形ではない丁子咲きで、大手メーカーが作らない日本人の感性にあう淡い色合いの品種を作りたいと思い開発を試みた。

【開発のコンセプト】丁子咲きタイプで、淡い色合いの花色・分枝性・開花性の向上/寄せ植えやコンテナに向くコンパクトな草姿/マーガレット特有のいやな臭いがしない

【発見・開発の面白さ、難しさ】交配から選抜を行い、目的の淡い色合いを作り出せた。その後、いろいろな環境条件、場所で植栽試験をし、耐病性、耐環境性、開花性も調査し、既存品種以上のパフォーマンスを得られた。また、分枝性がすぐれ、株張りもよいので、寄せ植えやハンギングでも使える商材になると思った。

【今後の展開】同様に丁子咲きタイプで色幅を増やして、シリーズ化し、春から長く楽しめる商品として提案していきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ニューバリュー特別賞 同時受賞]



品目名 : ルピナス
 品種名 : 開運の昇り藤 ピンク×ホワイト
 受賞者 : 仙波園芸(栃木県)
 育成者 : 仙波 勉
 審査講評 : 1番花の花穂は長くみごと。その後も側枝への花上がりがとても良く、2番、3番、4番くらいまで咲き、連続開花性があることが確認できた。
 販売時にこのパフォーマンスが伝わるような工夫をすることで商品性がより高まるだろう。ルピナスに新しい価値観を与えてくれるとても優秀な品種として、ベスト・フラワー(優秀賞)とニューバリュー特別賞を同時受賞した。



▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子 (3/30撮影)



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/13撮影)



▲定植後26日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/25撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】国内では昔から、「ノボリフジ」という縁起の良い名前でも親しまれてきましたが、従来品は「1年目は花が数本で終わる、途中で曲がる、ヒョロツとして軟弱」と言った欠点がありました。そこで当園では、特に以下コンセプトの5項目にこだわり、10年以上選抜育種を繰り返し行ってきました。

【開発のコンセプト】①側芽が豊富で次から次へと開花する。②花穂が太く真っ直ぐ伸び、先端まで綺麗に咲く。③花持ちが良い。④日が経っても株が暴れない。(矮化剤不要。)⑤新しい花色の創造(現在15色)と、発色の向上。

【発見・開発の面白さ、難しさ】年々、狙った方向へ改良されていると実感できる時や、予期せぬ花色を発見した時に喜びを感じます。

また、年に1度しかチャレンジ出来ない難しさがあります。

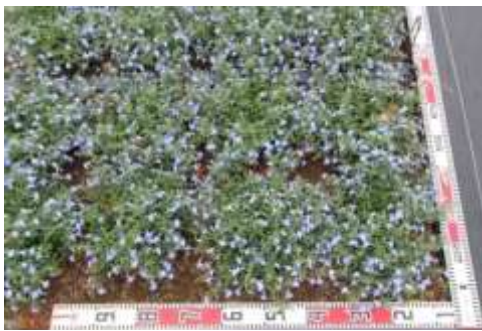
【今後の展開】今年から培養苗による海外販売を開始し、また、別系統では米国における特許が下りた為、国内外問わず様々な用途でルピナスを活用してもらえよう、引き続きより良い品種づくりを目指します。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ニューバリュー特別賞 同時受賞]



品目名 : ロベリア
 品種名 : 空色てふてふ 青空ブルー
 受賞者 : 松原園芸(群馬県)
 育成者 : 松原 紀嘉
 HP : <http://matsubaraengei.blog.fc2.com>
 審査講評 :

4月19日に植栽し、1か月後程から花数が増えたが、その後も連続開花し続け、株のバランスも美しく保っていた。耐暑性に優れ、暑い中でも咲き続けた。株に近づいて見ると若干咲き終わりの花ガラが気になるという意見もあったが、離れて見たところブルーの爽やかな色は十分に美しく観賞の価値があった。屋根付き施設内ではピンチした鉢は、9月末でもまだ花も株も美しさを保っていた。消費者にピンチの有効性と方法を伝えるとよりよく長く楽しめることだろう。強い耐環境性に加え、夏にはアメリカンブルー等にしかなかった花色がなによりも魅力的で、夏の素材として重要。ガーデンデザインの多様性や可能性を広げる品種として、ベスト・フラワー（優秀賞）とニューバリュー特別賞を受賞した。



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子（4/25撮影）

▲定植後36日の露地花壇・群落植栽の様子（5/25撮影）

▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子（8/8撮影）

■受賞者コメント

【開発の経緯】従来のロベリアは、綺麗であるが夏の暑さに弱く、楽しめる期間がとても短く感じていた。そこで、耐暑性、耐環境性を備えたロベリアができるか、交配と選抜により試みた。

【開発のコンセプト】これまでにない耐暑性と耐環境性/分枝性と株張りの向上/多花性と連続開花性/1株でも大きく育ち、楽しめるパフォーマンス性

【発見・開発の面白さ、難しさ】交配から選抜まで、3年以上をかけて行い、本品種にたどり着いた。いろいろな環境条件、場所で植栽試験をし、耐病性、耐暑性、耐環境性が他品種よりも向上し、株張り性、開花性も向上させることができた。また、夏の暑さや雨でも生育し、環境に左右されない品種を作ることができた。

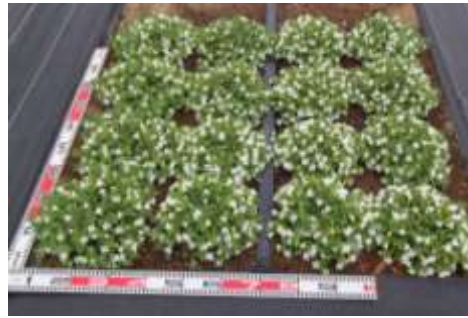
【今後の展開】同様に耐暑性と耐環境性を備えたロベリアで色幅を増やして、シリーズ化し、春から秋まで長く楽しめる商品として提案していきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞）



品目名 : カリブラコア
 品種名 : ティエルノ ホワイトver. 2
 受賞者 : 松原園芸(群馬県)
 育成者 : 松原 紀嘉
 HP : <http://matsubaraengei.blog.fc2.com>
 審査講評 : 涼しげな白色のカリブラコア。

花の中心部の緑色が爽やか。
 ドーム型にならずにほふくする草姿で、連続開花性がある。咲き進んでも花の大きさが小さくならなかった。また、生長しても株の中心部がドーナツ状に抜けることもなく、花ガラは埋もれていくので目立たないところも扱いやすい。ピンチをすれば、よりまとまりよく、安定的に長く楽しめる。
 株の低さをあえて強調して、グランドカバープランツとしての用途を提案してもよいだろう。ベスト・フラワー（優秀賞）を受賞。



▲定植後13日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/9撮影)

▲定植後29日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/25撮影)

▲定植後102日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/8撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】カリブラコアは、春から秋にかけて長く楽しめる植物で、花付きも類似植物のペチュニアに比べて良いが、耐病性、耐暑性が若干弱いと感じていた。

そこで耐病性、耐暑性、ならびに株張りに優れ、夏の暑さにも負けずに旺盛に成長するカリブラコアの開発を目指した。

【開発のコンセプト】耐病性、耐暑性、耐環境性の強化/旺盛な株張りとし生育力/連続開花性の向上/1株でも大きく育ち、楽しめるパフォーマンス性

【発見・開発の面白さ、難しさ】

交配から選抜まで、2年以上をかけて行い、本品種にたどり着いた。いろいろな環境条件、場所で植栽試験をし、耐病性、耐暑性、耐環境性が他品種よりも向上し、株張り性、開花性も向上させることができた。また、夏の暑さや雨でも生育し、環境に左右されない品種を作ることができた。

【今後の展開】

同様の強健なカリブラコアの色幅を増やして、シリーズ化し、春から長く楽しめる商品として提案していきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞） [グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]



品目名 : ペチュニア
 品種名 : 妖精のチュチュ フェアリーピンク
 受賞者 : 松原園芸(群馬県)
 育成者 : 松原 紀嘉
 HP : <http://matsubaraengei.blog.fc2.com>
 審査講評 :

ふんわり優しく広がる草姿、桜貝のような白味のピンク色の花弁に赤い縁取りは、その品種名のかわいらしさとマッチしている。

生育は旺盛で、立ち上がる草姿はヒラヒラとかなりのボリュームが出るので、植栽間隔を広めにとることが重要。販売時にこのパフォーマンスが伝わるような工夫をすることで商品性がより高まるだろう。

高温期にも安定感のある育ち方は、個人使用だけでなく、公共植栽でも楽しめる。

ベスト・フラワー(優秀賞)とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞した。



▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/27撮影)

▲定植後29日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/25撮影)

▲定植後62日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/27撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】2014年2月に関東を襲った大雪で、松原園芸の温室が何棟も潰れてしまいました。そんな中、潰れた温室の中で生き延びる花たちを少しでも助け出したいと、わざわざ駆けつけてくださった横浜のお花屋さんアン ヴォヤージュドウ フルールさん。その後も、潰れた温室の植物を助けてくれたアン ヴォヤージュドウ フルールさんと意気投合し、花屋さんと生産者という新しいコンビで、新品種を開発しようとして動き出しました。そして、2016年に誕生したのが、新品種ペチュニア『妖精のチュチュ』です。

【開発のコンセプト】誰でも育てやすい品種を目指し、病気にも、暑さにも強い品種にしました。そして、ほんのり優しい気持ちになれるように、優しい色合いのペチュニアにしました。お花屋さんと生産者が初めて挑戦したペチュニアです。

【発見・開発の面白さ、難しさ】横浜のお花屋さんアン ヴォヤージュドウ フルールさんと2年以上をかけて選抜を行い、本品種にたどり着いた。いろいろな環境条件、場所で植栽試験をし、耐病性、耐暑性、耐環境性も向上させることができた。

【今後の展開】色幅を増やして、シリーズ化し、春から長く楽しめる商品として提案していきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞） [グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]



品目名 : マンデビラ
 品種名 : サンパラソルジャイアント
 エンペラーズクリームゾン
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : 里見 朝也
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 HP : <http://suntory.jp/FLOWER/>
 審査講評 :

濃くて格調高い赤色の花、花の大きさにもインパクトがある。高温になると赤色がかすれる品種や逆に花色が濃くなる品種もあるが、この品種の花色は安定しており、花数も多く改良されている。赤色の花と濃くつややかな葉色の対比も美しかった。

分枝性も改良されており、低い位置から開花するので、高く生長しても株元がさみしくならない点も評価された。

花色、花型、花数、全体のパフォーマンスが優秀な品種として、ベスト・フラワー(優秀賞)とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞した。



▲定植後1日の屋根付き施設での様子 (4/27撮影)

▲定植後62日の屋根付き施設での様子 (6/27撮影)

▲定植後104日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/7撮影)

▲定植後141日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/14撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】サンパラソルと言えば赤、その赤色の優れた品種を狙い交配を実施。選抜した結果、大輪・濃赤品種を作出することに成功した。

【開発のコンセプト】花の赤色が鮮やかで濃く、フェードも少ない品種を開発する。生育旺盛で夏から秋まで良く咲く品種を開発する。

【発見・開発の面白さ、難しさ】サンパラソルは交配が難しく、栽培に時間もかかるので、いかに良い交配組み合わせを設計するかが重要であり、その検討が面白さでもあり難しさでもある。

【今後の展開】赤色の改良については今後も継続しながら、白色など他の色の改良も進めていきたいと考えております。

ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ特別賞、ニュースタイル特別賞 同時受賞]



品目名 : ニチニチソウ
 品種名 : ソワレ ピーチ
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : 山田 将弘
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 HP : <http://suntory.jp/FLOWER/>
 審査講評 :

オレンジ味をおびたパールピンクのやさしい花色。花弁の中心から、数枚の細い花弁が伸びてきて八重咲きの様になる個性的な花形のニチニチソウ。葉は少し燃りの入った照り葉。

花の高さに多少の高低が出て、風に揺れるような観賞価値がある。花の高さが揃っていても株揃いの良さは感じられた。

耐暑性があり、ボリュームも出るが、生育は比較的緩やか。花壇に直接植栽しても、コンテナでもオールマイティに楽しめる。

これまでにない新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与える品種としてベスト・フラワー(優秀賞)とニュースタイル特別賞、楽しい気分をもたらしてくれる品種としてモーストジョイ特別賞を同時受賞した。



▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/25撮影)



▲定植後34日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/27撮影)



▲定植後50日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/13撮影)



▲定植後113日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/14撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】これまでソワレはピンクと白の2色のみで色のバリエーションが少なかった。よりお客様にソワレを楽しんでいただけるよう、色バリエーションの拡大を狙った交配を実施。淡いピンク色が特徴のピーチの作出に成功した。

【開発のコンセプト】分枝・生育が良く、大輪八重の品種の開発。

【発見・開発の面白さ、難しさ】八重の花形は、温度によって変化することがあり、春～夏～秋と安定して八重になる品種を選抜するところが難しく、重視しているポイントである。

【今後の展開】引き続きソワレの色バリエーションの拡大、特に濃色品種の開発を狙った育種を進めていきたいと考えております。

ベスト・フラワー（優秀賞） [グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]



品目名 : ニチニチソウ
 品 種 名 : フェアリースター パープル
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : 山田 将弘
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 HP : <http://suntory.jp/FLOWER/>
 審査講評 :

細めの花弁の小輪系ニチニチソウ。赤みのある紫色で、単色遣いだけでなく、明るい色との組み合わせで寄せ植えしても濃い色味が生きてくる。開花期間中、花色は安定していた。

生育は旺盛で、花つきよく、株のバランスも良い。枝の伸びに長短が出るところも動きが出て、夏には涼しげでよい。

かなり大株になるので、消費者の満足度は高いと思うが、植栽間隔を誤らないよう注意したい。

扱い易く、育てやすい優秀な品種として、ベスト・フラワー(優秀賞)とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞した。



▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/25撮影)

▲定植後34日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/27撮影)

▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/8撮影)

▲定植後113日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/14撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】より病気に強いフェアリースターの開発を目標に交配・選抜を実施。冬から春の温室での生育、春から秋の屋外での生育を評価し、病気に強いフェアリースター パープルを選抜した。

【開発のコンセプト】分枝まとまりが良く、病気にも強いフェアリースターの開発。

【発見・開発の面白さ、難しさ】耐病性の評価は難しく、冬場の温室内、春から秋の屋外の両方で評価し、どちらの条件でも強い品種を選抜することが重要なポイントである。

【今後の展開】フェアリースターを今よりもさらに育てやすいシリーズにするべく、引き続き品種の改良を進めていきたいと考えております。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ニューバリュー特別賞 同時受賞]



品目名 : 皇帝ダリアハイブリッド
 品種名 : ガッツアリアダブルピンク
 受賞者 : 株式会社ミヨシ(山梨県)
 育成者 : 天野良紀、鹿毛哲郎
 育成者権者 : 株式会社ミヨシ
 HP : www.miyosi.co.jp

審査講評:

皇帝ダリアと園芸ダリアのハイブリッド。明るいピンク色の花色で、八重咲の品種。

一重系の皇帝ダリアハイブリッドと比較すると1~2ヶ月程度開花が早く、8月頃から開花し、草丈がコンパクトになっていることが最大の特徴。暑い時期に花の傷みや病害虫の害が無い点も見事。

これまでの皇帝ダリアは公共の公園などに向く植物と考えられていたが、支柱の立て方などの栽培情報を提供すれば、一般の消費者が新しいガーデニング素材として楽しむこともできる。

ガーデンデザインの可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種としてベスト・フラワー(優秀賞)とニューバリュー特別賞を同時受賞した。



▲定植後9日の屋根付き施設での様子 (6/3日撮影)



▲定植後49日の屋根付き施設での様子 (7/13撮影)



▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/8撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】 皇帝ダリアと園芸ダリアをかけ合わせ、庭植えの強さを持ちながら園芸ダリアの美しさを合わせて持つダリアを開発目標とした。皇帝ダリアは質的短日植物のために11月にならないと開花しない。また草丈が3mにもなり、草丈が伸びすぎて管理大変である。そこで、10月から開花し、草丈も2m前後とコンパクトな皇帝ダリアを目指して、開発を行った。

【開発のコンセプト】 皇帝ダリアよりも開花が早く、園芸ダリアよりもウドンコ病に強い、八重咲きを開発目標とした。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 最も苦労したのが交配作業。皇帝ダリアは11月の短期間しか咲かず、草丈も3m前後と非常に高くなる。交配のための花粉採取や受粉など、脚立を使った高所での作業の連続だった。また種間交配になるために、なかなか種子が採れず非常に苦労した。

【今後の展開】 皇帝ダリアの強健さ、連続開花性を持ち、ダリアの花の豪華さ、早生性を併せ持つ品種の開発。

ジャパndeザイン特別賞



品目名 : ダイアンサス
 品種名 : ジョルト ピンク
 受賞者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)
 育成者 : Linda Laughner
 育成者権者 : PanAmerican Seed
 審査講評 : 濃く鮮やかなピンク色の花が、いろいろな高さで球のように咲く。耐暑性があり、花上がりが良く連続開花性がある。花ガラや枯れた茎の手入れは必要だが、夏に和の雰囲気のある植物は貴重。単品使いより、他の植物との組み合わせに活躍しそう。
 日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されるジャパndeザイン賞を受賞。



▲定植後14日の露地花壇での様子 (5/25撮影)



▲定植後34日の露地花壇での様子 (6/27撮影)



▲定植後63日の屋根付き施設での様子 (7/26撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】 パン・アメリカンシードにブリーダーとして勤務するリンダ ラフナーは切花品種、花壇苗品種問わず25年以上に渡ってダイアンサスの開発に取り組んできました。ダイアンサス属は多様な種が存在し、まずは出来るだけ様々な種を集めることに専念しました。

【開発のコンセプト】 ユニークで多様な種を集めるのと同時に種間交雑を繰り返し行ってきました。その過程で開発をまず進めたのは切り花品種のアマゾン シリーズでした。

アマゾンの持つ高い草丈を持つ特性を引き継ぎ花壇苗品種に応用することを考え挑戦しました。特に耐暑性に優れ花壇苗に求められる花色が持続する条件として不稔性の特性を付与し種子が着きにくくより生育力が保たれ、開花が持続することに成功しました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 種間交雑となり机上の理論は通用せずひたすら試験後雑を繰り返す日々が続きました。結果的にどの種がこれら2シリーズにとって重要か判明しジョルト シリーズの2花色を育成することが出来ました。種間交雑を進める上で花色をより増やすことが困難な点ではありますが、根気よく進めています。

【今後の展開】 既に今回の受賞品種のピンクの他ローズを育成しており、新色の展開も予定しています。今後皆様にとって活用の幅がより広がるダイアンサスの品種を育成して参りますのでどうぞご期待下さい。

カラークリエイト特別賞



品目名 : マリーゴールド
 品種名 : ストロベリーブロード
 受賞者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)
 育成者 : Blair Winner
 育成者権者 : PanAmerican Seed
 審査講評 :
 耐暑性、連続開花性があり、花つきが良い。花卉は波打ち、優しい雰囲気。
 フレンチマリーゴールドとしては珍しく、中間色の花が開花する品種。少しベージュがかっているので、シックなアンティーク調の印象もある。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されるカラークリエイト特別賞を受賞。



▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/25撮影)



▲定植後34日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/27撮影)



▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/8撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】パン・アメリカンシードに勤務するブレア ウィナーは永年に及ぶマリーゴールド育種の過程で花卉の裏が美しいマホガニーレッドとなる変異個体を発見しました。

【開発のコンセプト】既存のマリーゴールドは鮮やかな黄色、オレンジ、赤銅色の花色は存在するものの中間色はなく突然変異の発見を受けて画期的な花色を育成することをコンセプトとしました。受賞品種のストロベリーブロードのようなピンクベージュとなる花色が育成できたら画期的だと考えました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】突然変異体のマホガニーレッドはもともと表面に表れておらず、黄色の部分が多く現在のよ様な赤色のベースが表面に表れていませんでした。また、これらの変異体から種子を獲得することが困難でまずは多くの種子を獲得できる組み合わせを行うことに専念しました。

その過程で表面にも希望とする花色が現れる組み合わせを発見し、さらに世代を進め高品質で大量の種子生産が可能な組み合わせをもって育成しました。

【今後の展開】花色がより鮮やかな赤色で赤銅色となる「ファイヤーボール」を同時に発表しました。数年先にはストロベリーブロードの姉妹品種も登場する予定です。

花壇苗はもちろんのこと既存の黄色やオレンジ色とは異なる中間色のマリーゴールドは鉢物などにも活用が可能です。今後とも既成概念を超えるマリーゴールドの育成に努めてまいりますのでどうぞご期待下さい。

第66回 関東東海花の展覧会（期間2/3(金)～2/5(日)）で
ジャパンフラワーセレクションの受賞品種をPRをしませんか？



ジャパンフラワーセレクション 受賞品種コレクション出品募集のご案内

同時募集：国際園芸博覧会2016トルコ・アンタルヤ出品品種

- PR展示の対象：JFSの過去の受賞品種全品種
国際園芸博覧会2016トルコ・アンタルヤのコンテスト・輸出向けPR用提供花材への出品品種
- 展示場所：東京 池袋 サンシャインシティ文化会館2階 展示ホールD（入場無料）
- PR展示申し込み締め切り：2017/1/26（木）
* 展示スペースに限りがありますので、
1月26日（木）以前に締め切ることがあります。
ご希望の方は早めにお申し込みください。
- 展示品搬入日時：2017/2/2（木）AM必着
- 出品料：無料

終了しました。



出品をご希望される方は、下記までお問い合わせください。

2017日本フラワー&ガーデンショウ 4/1（土）2（日）3（月）で
切花・鉢物部門 春審査会 開催！



ジャパンフラワーセレクション 切花・鉢物部門 春審査会のご案内

（同時開催 ジャパンセレクション(人気投票)・新花コンテスト）

- JFSの審査日：2017/3/31（金）* ジャパンセレクションの人気投票は4/1日（土）～2（日）です。
- 展示期間：2017/4/1（土）～4/3日（月）
- 展示場所：パシフィコ横浜展示ホールC,D
- 出品申し込み締め切り：2017/3/23（水）

終了しました。



出品料：	審査会	通常料金	特別価格（※）
	JFSのみ	5,000円（税別）	2,500円（税別）
	JFS+新花コンテスト	5,000円（税別）	3,000円（税別）

（※）特別価格の適用は、以下の①～②の条件に該当する方です。

- ①（一財）日本花普及センターの賛助会員もしくは都道府県の賛助会員が指導する生産団体に所属する生産者
- ② 全国新品種育成者の会員

■ JFS出品対象品種

- ① 日本での種苗登録もしくは本格的な販売開始から概ね5年以内の品種
- ② 日本における商業的な生産・流通・販売が期待されるもの
（海外で育種されたものも含む）

■ JFS出品申請者資格

以下のいずれかに該当する方が出品可能です。

- ① 品種を育種開発した者
- ② 品種の育成者権（同品種を業として扱う権利）を持つ者
- ③ 前二者のどちらかとの契約により日本における販売代理を持つ者

出品をご希望される方は、下記までお問い合わせください。



いい花の新基準。

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内

TEL：03-3664-8739 FAX：03-3664-8743

メール：ifpc@ifpc.or.jp



ジャパンフラワーセレクション受賞品種は、
業界が推奨する優れた品種です。
自信をもってお客様へお勧めください。